

重

次代を担う

「水素等環境関連産業育成・集積戦略」

点

山口県の瀬戸内沿岸地域には、次世代産業として発展が期待できる水素エネルギー等の環境関連分野に取り組む企業が集積しています。

本県の強みである水素の利活用や環境・エネルギー産業クラスターの形成を進め、水素等環境関連産業の集積を図ります。

戦

プロジェクト

◇水素利活用による産業振興と地域づくり

◇環境・エネルギー産業の育成・集積

略

プロジェクト	No	水素利活用による産業振興と地域づくり
	7	

目標	瀬戸内コンビナート生成の水素を活かした「水素先進県」の実現
	<ul style="list-style-type: none"> ・「液化水素ステーション」の誘致 ・水素利活用による事業化件数 4年間(平成25～28年度)で6件 ・水素利活用によるスマートコミュニティモデルの創出

現状と課題

- 瀬戸内コンビナートにおける大量かつ高純度の水素の生成
- 中・四国、九州地方で初となる液化水素製造工場の操業開始(平成25年6月)
- 水素を活用した本県産業の振興や地域づくりが課題

取組方針

- 液化水素活用のモデルとなる「液化水素ステーション」の誘致に取り組みます。
- 水素利活用の研究開発、事業化を促進し、産業振興を図ります。
- 水素ステーションを核とした地域づくりを進めます。

具体的な取組

◆「液化水素ステーション」の誘致

取組	<input type="checkbox"/> 「液化水素ステーション」の誘致				
工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	液化水素ステーションの誘致	●	→	●	→
		要望(本県への設置、技術基準の制定)		設置 操業	

◆水素利活用による産業振興の推進

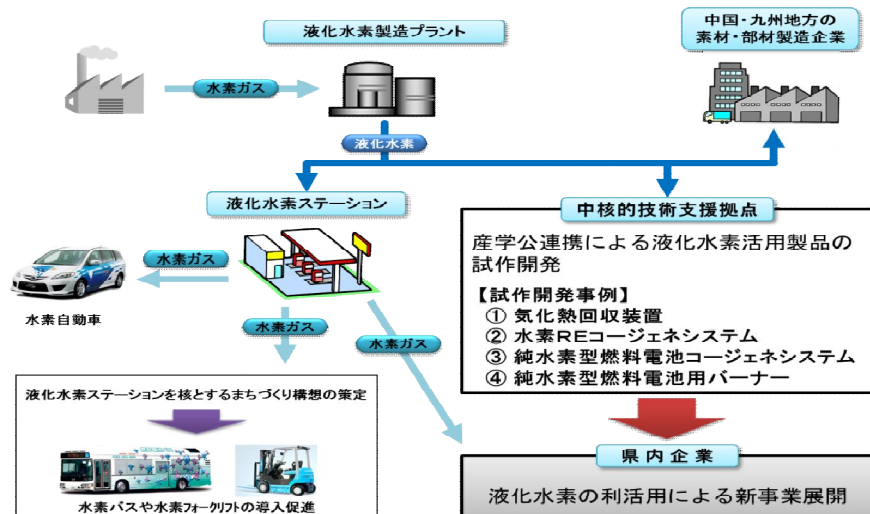
取組	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「環境・エネルギー産業クラスター構想」の策定等 <ul style="list-style-type: none"> ・「環境・エネルギー産業クラスター構想」の策定及び国による地域指定 ・構想に基づく競争的資金等の優先採択 <input type="checkbox"/> 水素利活用の研究開発・事業化への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「産業戦略研究開発促進補助金(仮称)」の創設を検討 <input type="checkbox"/> 水素技術研究分野の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・産業技術センターにおける中核的な技術支援拠点機能の整備 <input type="checkbox"/> 国による産業集積地域制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・「環境・エネルギー重点集積地域制度(仮称)」の創設・指定を要望(税制、財政、人財育成への総合的な支援)
----	--

工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	「環境・エネルギー産業クラスター構想」の策定等		→		→
	水素利活用の研究開発・事業化への支援	→	●		→
	水素技術研究分野の機能強化	●	→	●	→
国による産業集積地域制度の創設	●	→		→	

◆ 水素利活用による地域づくりの促進

取組	<input type="checkbox"/> モデル地域における「水素ステーションを核とするまちづくり構想」の策定 <input type="checkbox"/> 水素利活用のための環境整備 ・保安基準の制定要望や水素インフラ整備に対する支援制度の創設など <input type="checkbox"/> 燃料電池自動車やバス、公共施設や集合住宅等への燃料電池の導入促進				
工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	水素ステーションを核とするまちづくり構想の策定	→	→	→	→
	水素利活用のための環境整備	●	→	●	→
燃料電池自動車や公共施設等への燃料電池の導入促進	●	→	●	→	

事業の概要



プロジェクト	No	環境・エネルギー産業の育成・集積
	8	

目標	環境・エネルギー産業クラスターの形成
	<p>《環境・エネルギー産業の育成・集積環境の整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化件数 4年間(平成25～28年度)で10件 <p>《再生可能エネルギーの導入促進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの発電出力 平成28年度 56万6千kW (平成23年度比 1.5倍) ・EV急速充電器の設置数 平成28年度 60基(平成23年度 23基)

現状と課題

- 優れた立地環境
 - ・瀬戸内沿岸地域に高い省エネ技術を有する基礎素材型産業の集積
 - ・環境・エネルギー関連などの高い機能性を有する素材・部材の供給基地
- 県内企業の環境・エネルギー分野の取組が活発化
- 研究開発、事業化に向けた更なる取組の加速化が必要

取組方針

- 新たな研究開発や事業化を支援します。
- 研究開発機能を強化し、企業の先導的な取組をサポートします。
- 優れた立地環境を活かした重点的な企業誘致活動に取り組みます。
- 国制度の積極的な活用により、資金や人財育成等において、企業の取組を支援します。
- 再生可能エネルギーの導入を促進します。

具体的な取組

◆環境・エネルギー産業の育成・集積環境の整備

取組	<input type="checkbox"/> 「環境・エネルギー産業クラスター構想」の策定等 <ul style="list-style-type: none"> ・「環境・エネルギー産業クラスター構想」の策定及び国による地域指定 ・構想に基づく競争的資金等の優先採択
	<input type="checkbox"/> 新たな研究開発・事業化への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「産業戦略研究開発促進補助金(仮称)」の創設を検討 ・スマートファクトリーモデルの整備
	<input type="checkbox"/> 研究開発機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・産業技術センターにおける先進的な研究開発拠点機能の整備
	<input type="checkbox"/> 新規立地・拡大投資の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・重点的な企業誘致活動の展開 ・企業ニーズを把握し、国に対して設備投資の制約となる規制緩和の要望等
	<input type="checkbox"/> 国による産業集積地域制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・「環境・エネルギー重点集積地域制度(仮称)」の創設及び指定を要望 (税制、財政、人財育成への総合的な支援)

工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	「環境・エネルギー産業クラスター構想」の策定等	→	→		→
				構想に基づく競争的資金等の優先採択	
	新たな研究開発・事業化への支援	→ ●	→	→	→
		検討		●	→
		スマートファクトリー構想策定		整備	県内工場への展開
研究開発機能の強化	●	→	●	→	
	要望		産業技術センターにおける先進的な研究開発拠点機能の整備		
新規立地・投資拡大の促進				→	
			重点的な企業誘致活動の展開		
			ニーズを把握し、国に対して設備投資の制約となる規制緩和の要望等		
国による産業集積地域制度の創設	●			→	
			「環境・エネルギー重点集積地域制度(仮称)」の創設・指定の要望		

◆ 再生可能エネルギーの導入促進

取組	<input type="checkbox"/> 家庭、事業所への再生可能エネルギー県産品の利活用促進 <input type="checkbox"/> EV等次世代自動車・インフラの導入促進				
工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	家庭、事業所への再生可能エネルギー県産品の利活用促進	● →			→
		補助制度等の創設		展示会等による普及啓発	
EV等次世代自動車・インフラの導入促進	→			→	→
		整備計画の策定	モデル事業の実施等		EV急速充電器60基設置

事業の概要

《環境・エネルギー産業クラスターの形成》

